

音楽と私

私の今の音楽とのきっかけは、高校時代ブラスバンドから始まった。当時ラジオから流れてくる通称:進駐軍放送 FEN(現 AFN-Pacific)を聞いて感銘を受けた Jazz だ。

Jazzの起源といわれる単純なコード進行及びトランペット、トロンボーン、クラリネット、バンジョー、ピアノ、ベース等の少人数制のルイ・アームストロング等の Dixie Land Jazz。のちに黒人SWING系デューク・エリントン、カウント・ベイシーBig Band 白人SWING系デハリー・ジェームス、グレンミラー、レス・ブラウン Big Band 多種多様な音楽が発展する中で登場した Modern(イースト、ウエスト)系のチャーリーパーカー、クリフォード・ブラウン、コルトレーン、チェット・ベーカー等 Jazz の枚挙のいとまがないが何気なく聞いて育った。

大学でも先輩が作った Jazz Band に入り Jazz に興味を持つようになり(3学年には舟木一夫「高校三年生」流行)、やがて卒業後川崎地区の質屋の大將の「スイング・ジョーカーズ (Big Band 又は、Jazz Orchestra 以後略)」に入団した。10年ぐらいて所帯を持つようになり子供ができて10年間ぐらいい断していたが復歸した。夏になると信州、山梨方面で合宿した。近年の経過は「スイング・フォレスト」に入りあちこちで練習、コンサートに参加していた。演奏旅行も北海道・函館「ベスト」と数年おきにお互いの地にて合同コンサートに参加した。北海道では函館山のロープウェイ頂上のコンサートホールで東洋一の夜景をバックに、横浜では「クリフサイド」で、毎回数人の一流プロミュージシャンにご参加を頂きながら交流しいろいろ参考にしながらか勉強しました。そして近年では、隅田の「ハイ・ファイブ」、埼玉「サース デイ」現在の「アゼリア合奏団 in シニア」.....この時のご指導いただいた「鍋木 融」先生のご紹介で「アンサンブル スルーザ ヨコスカ」にも数年在籍、この時、トランペット のラリーさんと知り合いました。現在も8X才で現役です。彼は、渡辺貞夫さんとバークレーで同期、その時の卒業記念レコードも聞かせていただきました。その後数々の有名 Big Band をへて日本に移住いたしました。彼はいまだに元気に演奏しています。私はあとから彼を追い かけています。

もうおわかりでしょうか!?私は Trumpet 奏者です。

管楽器は、年齢には逆らえない.... 特に Brass(Trumpet、Trombone)は奏法にもよるが歯並び、アンブチャー、特に普段大きな音で吹く人はなおさらである。そして、数日練習を休むと音が違ったものになるのでその分負担である。形容するならば「陸に上がったまぐろ」である。そこで独自の方法で、まず、Trumpet とマウスピースの相性を互いに種類を変え分類:マウスピースを何種類かで2オクターブ間の音程のチャートを作成、あくまで自分に合ったものを見つける。そして、年齢を重ねるごとに音が出なくなることを考慮して低音から高音までできるだけ小さな音で練習を心がけています。サクソホーンも違った意味で小さく吹くのは難しいと聞きます。また、アンサンブルかソロでも小さな音で軽く吹くことをお勧めいたします。ただし、本番は周りと調和するくらいの大きさが必要です。

